

○指導・評価計画 【国語科2年】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>①②③(書写)で記す ①タオル-心情の変化をつかむ- (教科書 18～33 頁) 作品全文を音読した後、漢字・語句について確認する。 「少年」「父」「祖父」「シライさん」の4人について、登場人物の紹介図(互いへの思いを含む)を作る。 百人一首 32 番 33 番の学習 漢字テキストなし</p> <p>②詩の鑑賞「虹の足」(教科書 p14～p16, 国語便覧 p180～p185) 詩人の言葉をあつめた自作資料を読んで、一般的に詩が生まれるとき、詩の題材となることがら、などを捉える。 詩に使われる、工夫された言葉や表現技法とその効果を考える。</p> <p>③行書の特徴(教科書 p22～p25) これまでに学習した行書の特徴を確認し、行書の練習 1(教科書 p30～p31)、行書の練習 2(教科書 p38～p39)に取り組む。 常用漢字一覧表(教科書 p79～p93)を活用し、小筆を用いて自分の名前を行書で書く。</p>	<p>①②③(書写)で記す ①タオル-心情の変化をつかむ- 作品を通じて、「少年」の心情がどのように変化したか、その理由は何かを図にする。 百人一首 34 番 35 番の学習 漢字テキスト 23 回の学習</p> <p>②詩の鑑賞「虹の足」 「虹の足」の読解 音読を通して、詩に描かれた情景を捉える。詩に用いられている表現の工夫を押さえ、それぞれ具体的にどのような効果があるか、考える。</p> <p>③行書と仮名の調和「夕映えの空」(教科書 p40～p41)練習 教科書の手本と書き方の動画(ロイロノートにカードとして添付)を参照し、「夕映えの空」を半紙(無い場合 A4 のコピー用紙などで代用)に練習する。</p>	<p>①②③(書写)で記す ①タオル-心情の変化をつかむ- 他の生徒の人物紹介図や心情変化図を基に自分の考えを深める。 「涙」「タオル」「潮のにおい」から一つ選び、果たす役割や象徴するものを考える。 百人一首 36 番 37 番の学習 漢字テキストなし</p> <p>②詩の鑑賞「虹の足」 「虹」が象徴している事柄を理解し、表現の工夫がどのように主題に結びついているかを捉える。気にいった表現や、言葉をもとに鑑賞文(300字程度)を書く。</p> <p>③行書と仮名の調和「夕映えの空」(教科書 p40～p41)清書 練習を踏まえ、「夕映えの空」を清書する(学年・名前を行書で書く)。</p>
<p>①人物紹介図はカードで提出。登場人物の人物像や互いへの思いを的確に捉えているかどうかで評価する。</p> <p>②カードに問の答えを記入し提出。</p> <p>③教科書の必要箇所に各自記入し、後日提出。行書で書いた自分の名前は、各自撮影した画像を個別に提出。</p>	<p>①「少年」の心情変化の図はカードで提出。心情変化やその理由が的確に捉えているかどうかで評価する。</p> <p>②詩の情景を絵に描く。写真にして提出。カードに問の答えを書いて提出。</p> <p>③資料箱の動画を参照し、各自練習する。この週は提出物なし。</p>	<p>①他の生徒の図を基に考えたこと、果たす役割や象徴はカードで提出。自分の考えを深められているか、作品内容を的確に捉えているかどうかで評価する。</p> <p>②問の答え、作文はカードで提出。</p> <p>③清書したものを写真で提出(可能であればクラスで共有)。半紙がない場合コピー用紙などに書いたものでも可、作品自体は後日提出。</p>
<p>①登場人物の人物像や互いへの思いを捉えることで、文学を理解する基礎的な方法や力を身につけることができる。(2年Cア)</p> <p>②資料を正しく読みとれているか。詩の表現技法の理解。 これまでの詩の体験などもふまえて、詩独特の言葉の用法や、なぜ詩人が比喩などを使うのか、ということを理解する。</p> <p>③行書の特徴を理解し、それを踏まえて自分の名前を行書で書くことができる。</p>	<p>①主人公の心情変化を捉えることで、文学を楽しむ基礎的な方法や力を身につけることができる。(2年Cイ)</p> <p>②書かれていることを正確に読み取る。「虹の足」を通して、具体的に、工夫された言葉とその効果の理解。工夫された表現から膨らむイメージを味わう。</p> <p>③行書に調和する仮名の特徴を理解し、書くことができる。</p>	<p>①他の生徒の考えや表現に学ぶことで、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。また、象徴性の高い表現について考えることで、文学を楽しむ基礎的な方法や力を身につけることができる。(2年Cオ)</p> <p>②詩の理解、感じたことなど自分の考えをまとめる。作品の主題を捉え、表現の面白さへの気づきを書く。</p> <p>③学年や名前を含め、行書と仮名を調和させて書くことができる。</p>

○指導・評価計画 【2年社会科（地理A）】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>①日本の位置を調べよう （教科書128～129頁） 日本の位置を世界的視野からとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書p118を読んで二つの方法で日本の位置を説明しよう 教科書p129の地図を見て、日本とほぼ同緯度、同経度の国を3か国ずつ挙げよう。 地図帳p153を見て、各州を日本に近い順に挙げよう。また、日本に近い国、遠い国の代表を5か国ずつ挙げよう。 <p>○提出課題 世界的視野からとらえた日本に位置の特色を20文字以内で端的に表現しよう。</p>	<p>②日本の領域の特色を見てみよう （教科書132～135頁） 島国日本の領域の特色や領土問題について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書p132を読んで島国日本の領土・領域の特色をとらえる。 教科書p133～135を読んで日本の領土をめぐる問題をとらえる。 <p>○自由課題 領土問題の解決策を提案することに挑戦しよう（選択）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ソ連が実効支配して70年余りが経過している北方領土返還について、実現可能な方策を考え、提案しよう。 ●沖ノ鳥島が「島」であることを示す「経済的生活」に関する活動を考え、提案しよう。 	<p>③各国の標準時と日本との時差 （教科書130～131頁） 国際化の進展する現代世界では標準時の設定や日本との時差への理解を深めることが大切になっていることに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地図帳1pの等時帯の地図をみて、各国は何度の経線を基準に標準時を設定しているか、標準時の設定の原則を考えよう。 教科書p131を読んで「時差を調べよう」の計算問題に挑戦しよう <p>○提出課題 教科書p131を参考に世界各地の二つの地域間の時差を求める計算問題を、3問以上（必ず答えがでること）作成し、提出する。</p>
<p>①提出課題を問題カードに記入して提出。 （後日、提出された作品を各クラス単位に提示し、的確さなどから見比べ、自己評価を促すようにします。）</p>	<p>②提出箱がありますが、自由課題です。各自まとめた提案については、公開されます。</p>	<p>③提出課題を問題カードに記入して提出。 （後日、提出された時差の計算問題を公開し、解く活動に取り組むようにします。）</p>
<p>日本を同心円的中心からとらえるだけでなく、多角的な視点からとらえることで、国際的視野を養うことができます。</p>	<p>海洋国家日本の特色と課題について、特に領土、領域の視点から考察を深めるようにしましょう。</p>	<p>世界各国は標準時子午線を基準に標準時を設定していることの意味を理解し、時差の計算に慣れ親しむようにしよう。</p>

○指導計画・評価計画例 【2年社会科（地理B）】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>①日本のさまざまな地域区分 （教科書 138～139 頁）</p> <p>日本をいくつかの地域に区分する必要があるのはなぜかを考え、その理由を3つ以上挙げられるようにする。</p>	<p>②地域をとらえる視点とは（教科書 178 頁）</p> <p>③九州地方の特色とは（教科書 179～190 頁）</p> <p>②の説明を聴いて、ワークシートの作り方を理解した上で、九州地方の最大の特色だということをワークシートの中央に置き、その特色と関連付けて説明できそうなことがらを8つの視点を使いながら追究し、カードにまとめる。（②、③で合計90分程度）</p>	
<p>①カードで提出。 （3つ以上の理由を記入） （5月15日まで）</p>	<p>③ワークシートの中央に置く 「九州の最大の特色」と考えたカードだけを提出。 （5月22日まで）</p>	<p>③仕上げたワークシートをカードで提出。（5月29日まで）</p>
<p>①地域区分によって地域の共通性や関連のある「まとまり」が見えることで、今後学習する各地域の特色や地域間の結び付きをとらえやすくなります。</p>	<p>②地域をとらえる視点を把握することで、教科書の記述のみによらずに、地図帳などを活用して様々な地域の特色を考えることができるようになります。</p> <p>③自分なりの視点で地方の特色を探し出し、それが成立する条件を、分布や広がり、地域内の結び付き、人々の対応などに着目してとらえ、他の事象やそこで生じる課題と深く関連付けて様々な角度から考え、表現することができるようになります。</p> <p>九州では自然環境や環境保全の取り組みに着目することが効果的であることがわかります。</p>	

○指導計画・評価計画例 【2年社会科・歴史】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>①「中世」という時代の終わり方の特徴を考える。 （教科書 74～79 頁）</p> <p>10 分程度の導入のカードで説明を聞いた後、「中世」という時代がなぜ、どのように終わりを迎えたのか、戦国大名の登場や織田・豊臣による統一事業が必要だった理由を踏まえてまとめる。 （合計 80 分程度）</p>	<p>②「戦国大名」と「守護大名」の違い（教科書 78～79 頁）</p> <p>①の課題の解説を聞いた後、表題のテーマを1枚のカードにまとめて提出する。</p> <p>③「近世」の導入 （教科書 92・93 頁）</p> <p>タイムトラベル⑥から新しい時代の特徴をたくさん見つけてカードに書き出してみる。</p>	<p>④織田信長・豊臣秀吉の政治 （教科書 94～97 頁）</p> <p>シンキングツールを用いるなどして、2人の戦いや政策をまとめて、どのようにして新しい時代が始まったのかを文章でまとめる。 （合計 90 分程度）</p>
<p>①カードで提出。 （参考になる優れたカードを選び、全員に送付するので、読んでおく。）</p>	<p>②カードで提出。 ③カードで提出。</p>	<p>④カードで提出。 （文章でまとめたカードのみでもけっこうです。）</p>
<p>①時代の特色をとらえる方法として、その時代がどのように終わりを迎えたか、それはなぜかという問いから追究することで、どのような時代だったかを明らかにしやすくなることに気づくことができます。</p> <p>できごとを因果関係によって関連付ける力を、様々な学習活動によって育てていきます。</p>	<p>②各時代の特徴的な人物を比較し、その類似点や差異を明らかにすることで、社会の変化やその背景に関心が向くようになり、時代の特色をとらえやすくなります。</p> <p>③イラストから様々なことから読み取る活動を通して、小学校で学んだ知識を確認し、新たな疑問・課題を見つけ出すことを期待します。</p>	<p>④時代の転換期に登場した人物の行動とその影響にどのような意味や意義があったかを、「よりよい未来の創造のために、どのようなことが必要とされるのか」という視点から考えることで、歴史はただ過去のことを知るために学ぶわけではなく、未来を創っていくための学習であることに気づくことができ、より広い視野から探究する力がつきます。</p>

○指導・評価計画【第2学年数学科 数学A 数学B】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>【数A】教:p. 8-p. 10 ①ガイダンス，導入課題 「体育館でのランニング練習」 ②導入課題の解説，発展課題 「山手線のレールの長さ」 ③発展課題の解説 ・解決方法のあり方について考えるとともに，その表現方法や，文字を用いることの有用性について見直ししてみてください。 ・ノートに学習内容を簡潔に表現し，見やすくノート作成に努めてください。</p> <p>【数B】教:p. 171, p. 210 ④確率とは何か？（歴史的背景や身の回りにある確率について知る） ・これから学習する「確率」についての歴史的背景や私たちの身の回りで確率が活用されている事例に関する解説の後，各自興味をもった事柄について，本やインターネットを活用しながら調べまとめる。</p>	<p>【数A】教:p. 10-p. 15 ⑤折り紙を用いた課題 ・15×15の折り紙を用意してください ⑥単項式と多項式及びその計算 ⑦いろいろな式の計算 ワークシート利用 ・計算の定着と習熟を図ります。 ・いろいろな計算の考え方，解法の注意点について確認を行い，計算ができるようにする。</p> <p>【数B】教:p. 158-p. 160 ⑧統計的確率（事柄の起こりやすさについて実験を基にして調べ，その傾向を理解する） ・4枚のコインを用いた実験を通して，コインを投げた回数と出方，回数ごとの相対度数について記録し，グラフにまとめる。 ・無料で使えるシミュレーションソフト（CODAP）を必要に応じて用いる。</p>	<p>【数A】教:p. 16-p. 20 ⑨単項式の乗法と除法 ワークシート利用 ⑩式の値 ⑪多項式の加法，減法 ワークシート利用 ・計算の定着と習熟を図ります。 ・計算技能に関して，時間よりも，記述法に注意し確実な処理技術の習得を目指してください。</p> <p>【数B】教:p. 161 ⑫同様に確からしいとは何か？（数学的確率について理解する） ・実験のまとめに関する解説の後，ガリレオ・ガリレイの「3つのサイコロの賭博」の問題を用いて，同様に確からしいということを理解する。また，同様に確からしいという条件があるとき求めることができる確率が数学的確率であることも理解する。</p>
<p>【数A】カードで提出（締切 5/15） （詳細は授業の中で示します。） 【数B】カードで提出（締切 5/15） ①調べた内容についての概要を，②そこでの確率の良さ，または調べて明らかになったこと等の自分の意見をまとめる。</p>	<p>【数A】カードで提出（締切 5/22） （詳細は授業の中で示します。） 【数B】カードで提出（締切 5/22） ①実際に実験をして得られた結果（グラフも含む），②実験の結果に基づく考察について，実験を行う前の予想や，コインを投げる回数と相対度数の関係を踏まえてまとめる。</p>	<p>【数A】カードで提出（締切 5/29） （詳細は授業の中で示します。） 【数B】カードで提出（締切 5/29） 授業内容を踏まえ，サイコロが3個の場合の確率を考える。</p>
<p>【数A】 課題内容をよりよく表現するための，図の作図法について理解し習得してください。見やすく表現するために，文字をどのように用いるか理解し，扱いに慣れてください。また，課題を発展的に捉えることによ</p>	<p>【数A】 単項式と多項式など用語の意味を理解しましょう。また，多項式に関するいろいろな式の計算の定着とその強化をはかりましょう。その際，記述法に注意し確実な処理技術の習得を目指してください。</p>	<p>【数A】 単項式の乗法と除法の計算の定着とその強化をはかりましょう。また，式を簡単な形に変形してから値を代入し，式の値を求めることができるようにしましょう。その際，記述法に注意し確実な処理技術の習得を目</p>

<p>り、より主体的に学習に取り組めればよいでしょう。</p> <p>【数B】私たちは確率を用いることで、不確定な事象を捉え説明することができます。その確率をこれから学習していくにあたって、確率誕生の歴史的背景や、確率が実生活で活用されている例についてまとめることで、<u>確率を単に求めることだけでなく、確率が不確定な事象を捉え説明する根拠として有効であることを理解することができます。</u>また、確率の必要性和意味を理解し、<u>数学と実生活や社会との関係を実感することを期待</u>します。</p>	<p>【数B】4枚のコインを用いた実験を通して、実際に不確定な事象について確率を用いて数値で表現し把握することができます。4枚のコインを投げて起こる3つの事象について、どの順番で起こりやすいかを予言することはできませんが、多数回の試行に対する各事象が起こった回数の結果を整理すると、<u>事象が起こる割合(相対度数)が、一定の値に近づくことを実感できるようになります。</u>それによって、事柄の起こりやすさを<u>実験や調査等を通して確認することの必要性を理解</u>することができます。</p>	<p>指してください。</p> <p>【数B】先週学習した統計的確率を基に、「同様に確からしい」ことを学習することで確率のもう一つの定義である<u>数学的確率について理解</u>することができます。実際に、同様に確からしいことが事柄の判断が必要な問題について考えることによって、<u>なぜ確率を求める際に同様に確からしいことの判断が重要なのかについて気づく</u>ことができます。また、<u>順列と組み合わせの内容についても触れる</u>ことができ、確率を計算するにあたっての重要な事柄についても理解することができます。</p>
---	---	--

○指導計画・評価計画 【2年理科】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>①音による現象(1)(2) （1年教科書 196～199 頁） 音が発生するしくみ、音の伝わり方 （主な学習活動） ワークシートに沿って、課題を進める。ワークシートはHPからダウンロードする。 ★余裕がある人はNHK「Active10『音』」の視聴する。</p> <p>② 火山の噴出物 （1年教科書 p. 72～78 頁） ・火山が噴火するとき火口からどのようなものが噴出されるか。その特徴をまとめなさい。 ・日本のおもな火山の分布にはある特徴がある。わかりやすくまとめなさい。 ・マグマのできるところはどこか説明しなさい。</p> <p>③ 火山の噴火 （1年教科書 p. 72～78 頁） ・火山の形を3種類に分けたとき、それぞれの噴火の特徴を比較してまとめなさい。 ・「富士山」がもし大きな噴火をしたとしたら、附属中学校にはどのような噴出物が見られるか。そう判断した理由も説明しなさい。</p>	<p>①音による現象(3)(4) （1年教科書 200～205 頁） 音が伝わる速さ、音の大小と高低 （主な学習活動） ワークシートに沿って、課題を進める。ワークシートはHPからダウンロードする。 ★余裕がある人はNHK「10分ボックス『音』」の視聴する。</p> <p>② 火成岩1 （1年教科書 p. 79～83 頁） ・「火山岩」と「深成岩」のでき方などの特徴を比較してまとめなさい。 ・地下深くでできた深成岩が現在地表で見られる理由は、どのように説明できるか。</p> <p>③ 火成岩2 （1年教科書 p. 79～83 頁） ・火成岩をつくる代表的な6種類の鉱物の特徴をそれぞれまとめなさい。 ・代表的な6種類の火成岩のそれぞれの特徴をまとめなさい。 ・もし、できたら、国会議事堂の外装に使われている火成岩は何か調べなさい。 ・マイノート p. 9 に書き込む。</p>	<p>①電流の性質(1) （2年教科書 184～187 頁） 電流が流れる道すじと回路図 （主な学習活動） ロイロノートの課題をノートに進める。</p> <p>② 地層のでき方 （1年教科書 p. 84～88 頁） ・「風化」「侵食」「運搬」「堆積」というのはたらきを説明しなさい。 ・川の流水によって河口に運ばれてきた歴・砂・泥は、海底にどのように堆積するか。「海水の動き」という言葉を使って説明しなさい。</p> <p>③ 堆積岩 （1年教科書 p. 84～95） ・堆積岩である「れき岩」「砂岩」「泥岩」「石灰岩」「チャート」「凝灰岩」は何が固まったものか。それぞれ説明しなさい。 ・「示準化石」と「地質時代」について、表などにわかりやすくまとめなさい。 ・マイノート p. 10 に書き込む。</p>
<p>課題の提出方法</p> <p>①ワークシートをノートに貼るかノートに写す。「わかったこと」をカードで提出する。</p> <p>②③「理科2分野のノート」に記入しなさい。②③の課題をできるだけ1ページに収まるように、簡潔にまとめなさい。 *①～③のノートは後日提出</p>	<p>課題の提出方法</p> <p>①ワークシートをノートに貼るかノートに写す。「わかったこと」をカードで提出する。</p> <p>②③「理科2分野のノート」に記入しなさい。②③の課題をできるだけ1ページに収まるように、簡潔にまとめなさい。 *①～③のノートは後日提出</p>	<p>課題の提出方法</p> <p>①ロイロノートで指示された課題をカードで提出する。</p> <p>②③「理科2分野のノート」に記入しなさい。②③の課題をできるだけ1ページに収まるように、簡潔にまとめなさい。 *①～③のノートは後日提出</p>
<p>①音についての観察、実験を通して、音は物体の振動によって生じその振動が空気中などを伝わることを見いだして理解します。</p> <p>②「日本の自然」の特徴の1つに火山があります。日本を代表する火山『富士山』がきれいな形をしていることはここでの学習からわかります。</p> <p>③火山の噴火による災害を小さくすることや火山の恩恵にも思いを巡らせます。</p>	<p>①音についての観察、実験を通して、音の大小や高低は発音体の振動の振幅と振動数に関係することを見いだして理解します。</p> <p>②火成岩は日常生活の中で多く利用されています。ふだんは気づかないかもしれませんが、駅やビル、公園などにあります。探してみてください。</p> <p>③授業がはじまったら火成岩の実物を観察しましょう。</p>	<p>①身の回りの電気の道筋を回路として捉え、どのような回路であれば電流が流れるか理解する。また、回路図の書き方を理解します。</p> <p>②石灰岩は身近にあるコンクリートの原料の1つです。凝灰岩は、関東では「大谷石（おおやいし）」として有名です。石堀などに使われています。</p> <p>③授業で三葉虫やアンモナイトなどの化石の実物を観察しましょう。</p>

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>地球音楽探検（0）オリエント</p> <p>鑑賞を中心に、「民族音楽」を通して自分がどのような意思をもって世界の人々・文化を受け入れ学び合いたいと思うかを常に自分に問い続ける単元</p> <p>●単元スタートにあたって 各民族固有の「言語」「皮膚の色や身体的特徴」「感情表現のしかた」に触れるとき自分の心にどんな感情が生じるか予測する</p> <p>●真の国際人とはどのような考え・行動をとる人だと思うか</p> <p>●自分でテーマを決めて、この単元で探求してみたいと思う「自分のありかた」を現段階でまとめる</p>	<p>地球音楽探検（1）民族楽器</p> <p>前回のオリエントでロイロノートに提出された「課題」の回答カードを提出してから 本課題に取り組むよう指示</p> <p>●具体的な鑑賞教材を進めるのと並行して、前回、提出されている【課題】のカードの添削を行い、各生徒へ赤ペンでことばがけをおこなっていく</p> <p>●民族楽器の音色に耳を傾け、それらから生みだされる独特な響きを味わい、背景に興味を持てる民族楽器を紹介する</p>	<p>地球音楽探検（2）歌声</p> <p>歌唱の例を用いて、器楽のみに偏らないよう留意する</p> <p>●歌声の美しさに加えて、民族の誇りである美しい民族衣装などにも目を向け、文化とともに在る民族音楽を体感する</p> <p>●人の声の出し方の多様性に気づき、声はどのようにして出するのかを理解して自分の声作りに生かす。</p> <p>●日本の民族音楽との類似性に気づく（発展課題）</p>
<p>①ロイロノートの資料箱内の「2年音楽①オリエント（中村）」を読み、活動の流れを知る</p> <p>②【課題1】カードに、この単元を通して取り組んでいきたいと思う自分の「テーマ」を書いて提出</p> <p>*評価：自分の言葉で、現在の自分の考えを十分に言葉で表現できているか。</p>	<p>①ロイロノートの資料箱内の「2年音楽②地球音楽探検～楽器～（中村）」を学習し、音や映像を視聴して【課題2-1】および【課題2-2】の回答を作成しカードを提出する</p> <p>*評価：手描きの絵や言葉を駆使して、自分が想像した楽器を伝えられているか。</p> <p>*調べ学習を通して、課題1の「自分のテーマ」が深められているか</p>	<p>①ロイロノートの資料箱内の「2年音楽③地球音楽探検～歌声～（中村）」を学習し、音や映像を視聴して、【課題3】の回答を作成しカードを提出する</p> <p>*評価：興味を持って、声のしくみを調べているか。楽器と歌の違いに気づき、自分の考えを述べることができているか。</p> <p>発展課題については、提出は任意</p>
<p>・これから世界のさまざまな人とかかわっていくときに大切にしたいことを、音楽を通じて考えてみよう。</p>	<p>・楽器の音色を聴いて、どれくらい幅広くその楽器の背景を想像できましたか。日頃から、耳を澄ませて、音について発見していこう。</p>	<p>・自分で自分の声を創っていく第一歩として、声のでるしくみを知ろう。</p> <p>・世界の民族の様々な声や声の出し方に心をひらいて受け入れ、価値観を広げよう。</p>
<p>【4月休校中の課題】「カノン」</p> <p>・4つのパートを、ソプラノコーダーとアルトリコーダーそれぞれで正しく吹けるように技術を定着させる。</p> <p>・<u>2分の4拍子</u>を理解する。</p> <p>・登校できるようになった時に、グループで合奏する準備をすすめる。</p>		

○指導・評価計画例 【美術科・2年生】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>伝統色を学ぼう。 （表現と鑑賞 134～135 ㊦）</p> <p>日本の自然・動物・植物などから生まれた伝統色を、日本人と色との歴史的な関わりも踏まえて学習する。</p> <p>自分の身の回りにあるものや自然の中から伝統色にあたる色を探し出し、カードに記入する。</p>	<p>伝統文様を学ぼう。 （表現と鑑賞 132～133 ㊦）</p> <p>文様のデザインを観察した上で、それぞれの伝統文様に込められた意味を学ぶ。</p> <p>自分の身の回りにあるものから伝統文様を探し出しカードに記入する。</p> <p>また、自分がもし着物のデザインをするならどんな<u>思い</u>を込めたいかについても記入する。</p>	<p>反物のデザインを考えよう。</p> <p>伝統文様が連続性を持つデザインになっているのはなぜか？ 着物の組み立てを知ること、反物のデザインに必要な文様のルールを理解する。</p> <p>先日書き出した<u>思い</u>をテーマに、ワークシートに反物のデザインを描く。</p>
<p>カード提出。 （締め切り 5月17日）</p>	<p>カード提出。 （締め切り 5月24日）</p>	<p>カード提出。 （締め切り 5月31日）</p>
<p>先人が生み出した繊細な色文化を現代に生きる私たちの視点から捉えてみよう。 （ヒント：太陽の光・電気の光でも色の見え方は違ってきます。昔の人と今の人では、生活スタイルも違うよね。）</p>	<p>先人が生み出した文様文化を現代に生きる私たちの視点から捉えてみよう。 （ヒント：文様は作り手や着る人が込めた祈り。呪文と言ってもいいかもしれないほど強いデザインということを理解してほしい。）</p>	<p>自分の見方や感じ方を大切に、授業から得た知識なども活用しながら、新しいデザインを作り出しましょう。</p>

○第2学年指導・評価計画例 【技術・家庭科（技術分野）】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>①金属の特徴、金属の加工方法 （教科書 30～32 頁）</p> <p>導入カードを見て、金属の種類とその特徴、加工方法について理解する。</p> <p>その後、生活の中にある金属の種類とその特徴について、カードにまとめる。 （50分程度）</p>	<p>プラスチックの特徴と加工法 （教科書 30～32 頁）</p> <p>導入カードを見て、プラスチックの種類とその特徴、加工方法について理解する。</p> <p>その後、生活の中にあるプラスチックの種類とその特徴について、カードにまとめる。 （50分程度）</p>	<p>材料と環境との関わりと工夫 （教科書 33 頁、36～37 頁）</p> <p>導入カードを見て、材料と環境の関わり、構造の工夫について理解する。</p> <p>その後、生活の中にある新素材の種類と特徴について、カードにまとめる。 （50分程度）</p>
<p>①カードで提出する。</p> <p>生活の中にある金属の種類とその特徴について関心を持ってたかを自分の生活の中に結びつけた記述が見られる。</p>	<p>①カードで提出する。</p> <p>生活の中にあるプラスチックの種類とその特徴について関心を持って自分の生活の中に結びつけた記述が見られる。</p>	<p>①カードで提出する。</p> <p>生活の中にある新素材の種類と特徴について関心を持って自分の生活の中に結びつけた記述が見られる。</p>
<p>① 材料や加工の特性などの原理・原則と、材料の製造・加工方法などの基礎的な技術のしくみについて理解することができる。</p> <p>また、生活の中にある製品などに対して、興味・関心を持ち、材料の特徴や性質について主体的に理解することを期待する。</p>	<p>① 社会からの要求や安全性、環境負荷や経済性などに着目し、技術が最適化されてきた歴史的背景について、気づくことを期待する。</p> <p>また、生活の中にある製品などから、快適な生活環境を維持するために、主体的に学習することを期待する。</p>	<p>① 材料と加工の技術の進展が、社会を大きく変えてきた状況や、加工技術と自然環境との関わりにも触れ、新たな技術の開発について理解を深めることに期待する。</p> <p>また、家屋や高層建築物、橋梁などの構造物のしくみについて理解することで、作品を制作する際の手がかりとなることを期待する。</p>

○指導・評価計画例 【2年技術・家庭（家庭分野）】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>【2年生の家庭科で学ぶこと】 （教科書 P62～145）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習についてガイド ンスをします。 ・授業後の提出物は、ロイロノ ートのカードで提出する場合 と、家庭科のノートに記録し ておくものと、HPからダウ ンロードしてプリントに記入 して家庭科のノートに貼っ ておくものがあります。 ・調理の基本について確信しま す。 <p style="text-align: right;">（40分程度）</p>	<p>【包丁の使い方・切り方】（実習） （教科書 P97・101）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P101 を見ながら包丁の 持ち方や基本的な切り方につ いて学習します。安全や衛生に注 意しながら取り組むことを知り ます。実際に簡単な切り方の練 習をしてみます。 <p style="text-align: right;">（50分程度）</p>	<p>【おいしさとは】（実験） （教科書 P99）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おいしさ」について考えてみ ましょう。教科書 P99 を読んで、 実際に①「実験：香りと味は関係 している」②「だし汁の味を比較 してみよう」に取り組んでみま しょう。また「おいしさ」につ いて調べてみましょう。おいし さは食べ物自体の味だけではな いことに気づきます。 <p style="text-align: right;">（50分程度）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P94～97 までよく読み ながら、調理の計画や基本に ついて、気づいたことや感想 をカードに書いて提出する。 <p style="text-align: center;">（5月14日締切）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P97 の 27 図を見なが らキュウリ 1 本を切ってみる。そ の写真を撮り、またはイラスト で描き、家庭科のノートに貼っ ておいてください。感想も家庭 科のノートに書いておいてくだ さい。 <p style="text-align: center;">（5月21日まで）</p>	<p>2つの実験に取り組み、実験の 取り組みと経過・結果を家庭科 のノートに記録しましょう。感 想をカードに書いて提出してく ださい。</p> <p style="text-align: center;">（5月28日締切）</p>
<p>これから、家庭科の「調理につ いて」学びます。</p> <p>今は学校で実習ができません が、小学校での学びを振り返り、 自宅で取り組んでみましょう。 食事は将来の心身の健康維持に 不可欠です。食の自己管理がで きるよう、基礎的な技術を身に つけることを目指します。</p>	<p>基本的な切り方の練習です。実 際に取り組んでみることによっ て、技術は上達します。安全には 十分に気をつけてください。</p>	<p>同じ食べ物でも、状況によって 感じ方は異なります。おいし さを構成する要素について考え てみよう。おいしさとは、さま ざまな要因を加味して判断する ものです。</p>

○指導・評価計画 【英語科(2年)】

5月3週 (11日～)	5月4週 (18日～)	5月5週 (25日～)
<p>【学習内容】</p> <p>①Lesson 1 Aloha! Get, Use-Speak (教科書 pp.6～7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文法】過去形の文の復習 ・教科書本文の内容理解&音読 ・Speaking Task→Writing Task <p>②Lesson 1 Aloha! USE-Read (教科書 p.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文の内容理解&音読 ・Writing Task 4 My dream spring vacation (休校中の課題) の共有 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>毎回の授業で用意する道具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・Writing notebook ・Practice notebook </div>	<p>【学習内容】</p> <p>①Lesson 2 Peter Rabbit Get Part 1 (教科書 pp.11～13)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文法】be 動詞 was/were ・教科書本文の内容理解&音読 <p>②Lesson 2 Peter Rabbit Get Part 2 (教科書 pp.14～15)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文法】接続詞 when, 過去進行形 ・教科書本文の内容理解&音読 ・Speaking Task→Writing Task <p>③Reading Task ・まとまりのある文章を読む</p>	<p>【学習内容】</p> <p>①Lesson 2 Peter Rabbit USE-Read (教科書 pp.16～17)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文の概要理解 <p>②Lesson 2 Peter Rabbit USE-Read (教科書 pp.16～17)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文の詳細理解&音読 <p>③Lesson 2 Peter Rabbit USE-Read & USE-Speak (教科書 pp.16～19)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・Writing Task→Speaking Task <p>④Reading Task ・まとまりのある文章を読む</p>
<p>【課題・提出物】</p> <p>①②共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講レポート(提出箱) ※詳しくは授業の中で説明 ・8 Steps <p>①授業内で出される Writing 課題</p> <p>②Writing Task 4 の共有</p> <p>※Writing notebooks と Practice notebooks を登校日に提出 (3週間共通)</p>	<p>【課題・提出物】</p> <p>①②共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講レポート(提出箱) ※詳しくは授業の中で説明 ・8 Steps を行う。 <p>②授業内で出される Writing 課題</p> <p>※上記の他、③Reading Task 授業の課題提出の可能性あり。</p>	<p>【課題・提出物】</p> <p>①②③共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講レポート(提出箱) ※詳しくは授業の中で説明 ・8 Steps を行う。 ・文法のまとめ <p>③のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で示される Speaking Task を録音し、カードで提出 <p>【29日(金)〆切】</p> <p>※上記の他、④Reading Task 授業の課題提出の可能性あり。</p>
<p>【授業のねらいや目標】</p> <p>①②共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去形を理解し、使うことができる。(復習) ・教科書の音読を通して、本文の英語を表情豊かに表現することで、相手に伝わる英語を話せるようになる。 <p>②のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去形を使って、自分のしたことについてまとまりのある文章を書くことができる。 	<p>【授業のねらいや目標】</p> <p>①②共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・be 動詞の過去形・過去進行形・接続詞 when を理解し、使うことができる。 ・教科書の音読を通して、本文の英語を表情豊かに表現することで、相手に伝わる英語を話せるようになる。 <p>③のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある文章を読むことができるようになる。 	<p>【授業のねらいや目標】</p> <p>①～④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある文章を読むことができるようになる。 <p>②③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の音読を通して、本文の英語を表情豊かに表現することで、相手に伝わる英語を話せるようになる。 <p>③のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の要点を相手に伝えることができる。

○指導・評価計画 【2年 HRH】 改訂版 5月18日～

5月3週 (11日～)	5月4週 (18日～)	5月5週 (25日～)
<p>テーマ：「立場をこえて、広がる輪」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界に目を向け、「違う立場の人々」との交流を通して、「日本」に住む自分自身を振り返ろう。 ・学年目標である“Respect”も再認識し、なりたい自分のありかたを考えよう。 		
<p><u>①オリエンテーション</u> HRH 担当からメッセージ ※ザンビア・パレスチナ事務所の方々にインタビューをしたり、みんなの意見をまとめたりしてくれる生徒を募集します。</p> <p><u>②調べ学習開始</u> 以下 2 点を各自考えたり、調べたりする。 1. ザンビア・パレスチナの自分なりの印象 2. これらの国・地域、JICA について調べたこと (各自)</p> <p><u>③調べ学習を通して出てきた疑問をロイロノートのカードで提出</u> (各自)</p> <p>◎インタビュー パレスチナ事務所(14日 15:00) ザンビア事務所(15日 15:00)</p>	<p><u>①インタビューの視聴とレポートの閲覧→感想や考え、さらに疑問に思ったことを HRH ノートに記入</u> (各自) ※パレスチナ、ザンビア事務所の方々からの質問や課題が出ます。</p> <p><u>②感想や質問、課題への回答をロイロノートのカードで提出</u> (各自)</p> <p>◎インタビュー パレスチナ事務所(21日 15:00) ザンビア事務所(22日 15:00)</p>	<p><u>①インタビューの視聴とレポートの閲覧→感想や考え、さらに疑問に思ったことを HRH ノートに記入</u> (各自) ※パレスチナ、ザンビア事務所の方々からの質問や課題が出ます。</p> <p><u>②感想や質問、課題への回答をロイロノートのカードで提出</u> (各自)</p> <p>◎インタビュー パレスチナ事務所(21日 15:00) ザンビア事務所(22日 15:00)</p> <p><u>③最後のまとめをロイロノートのカードで提出</u></p>
<p>③ 1 枚のカードにまとめて提出 【13日(水)16:00〆切】 済</p>	<p>② 1 枚のカードにまとめて提出 【20日(水)16:00〆切】</p>	<p>② 1 枚のカードにまとめて提出 【27日(水)16:00〆切】 ③ 1 枚のカードにまとめて提出 【6月4日日(木)】</p>
<p>1年生時の「シリーズもの」のテーマを引き継ぎ、今回は「世界」に目を向けて考える準備期間となります。</p>	<p>日本ではあまり報道されていない国や地域の事情を知り、それらの国や地域で活躍する人々「違う立場の人々」との交流を通して、日本という国に住む自分自身を振り返りましょう。</p>	<p>・PostCovid19の時代、世界とどのように共存していくべきなのかを考えるきっかけとしましょう。 ・学年目標である“Respect”も再認識し、なりたい自分のありかたを考えてみましょう。</p>
<p>道徳との関わり (C)主として集団や社会との関わりに関すること (13)勤労 (18)国際理解, 国際貢献 あすを生きる② 16 小さな工場の大きな仕事 10 海と空—檣野の人々— 28 ダショー・ニシオカ</p>		